

目次

ア

ゆつくりと、おもしろくおかしなこと……………	靄	嘔画家……………	二
魁れノ 瀬戸内海……………	青木敬介	播磨灘を守る会世話人……………	三
ユーモアの将来……………	赤川次郎	作家……………	四
人間存在とマイクロエレクトロニクス革命……………	赤木昭夫	NHK解説委員……………	六
二十一世紀の婦人労働……………	赤松良子	労働省婦人少年局長……………	七
医療保険制度の今後……………	浅井一太郎	虎の門病院特別顧問……………	八
世界の気候はどうなるか……………	朝倉正	気象庁気候変動対策室長……………	九
地震予知とその見通し……………	浅田敏	東海大学教授……………	一一
これからの北海道……………	浅田英祺	北海タイムス論説委員……………	一二
行政改革と公務員の倫理……………	浅野久代	京都府総合資料館庶務課主査……………	一三
婦人教育の重要性……………	浅野道子	名古屋婦人会館副館長……………	一四
これからの建築——近代建築のゆくえ……………	芦原義信	建築家……………	一六
日本左翼の将来……………	飛鳥井雅道	京都大学教授……………	一七

和菓子の将来……………	足立龍雄 中村屋社長……………	一八
伊江島で核戦争に反対して……………	阿波根昌鴻 伊江島土地を守る会会長……………	一九
われわれは復讐されるだろう……………	阿部 昭 作家……………	二一
高齢社会のイメージ……………	阿部 志郎 横須賀キリスト教社会館館長……………	二二
オーケストラと日本社会……………	阿部 黎子 名古屋フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ奏者……………	二三
平等・能力・試験……………	天城 勲 文部省顧問……………	二四
南アジアの宗教と文化……………	荒 松 雄 津田塾大学教授……………	二六
憲法九条とこれからの日本……………	新井 章 弁護士……………	二七
モラルの未来……………	栗津 則雄 法政大学教授……………	二八
食生活の問題点……………	安藤 節子 「食べもの文化」編集長……………	二九
イ		
喜劇の将来とその「精度」……………	飯 沢 匡 劇作家……………	三一
科学と平和……………	飯島 宗一 名古屋大学学長……………	三三
ブドウ品種改良の将来について……………	井川 秀雄 ブドウ交配業……………	三四
嫌煙権の将来展望……………	伊佐山 芳郎 弁護士……………	三五
「生まれ育ったところで死ぬ」ことのできる老人施策……………	石井 岱三 名栗園常務理事……………	三六
産業構造はどう変わるか……………	石井 威望 東京大学教授……………	三七
紙人形への夢……………	石垣 駒子 人形作家……………	三八

がんの診断と治療について	石川七郎	国立がんセンター総長	四〇
SF史年表から	石川喬司	作家	四一
二十一世紀は「農」「農民」の世紀	石川武男	岩手大学教授	四二
ポルノ文化の将来	石川弘義	成城大学教授	四三
核時代に生きる教育	石田明	広島平和教育研究所理事長	四五
地域に根ざす教育——面白くならねばならぬし、面白くなる	石田和男	恵那教育研究所所長	四六
繊維産業の将来	石田正	グンゼ社長	四七
コンピュータ・ネットワークとデータ通信の将来	石田晴久	東京大学教授	四九
「人間の歌」の二十一世紀	いずみたく	作曲家	五〇
新素材の今後	伊勢典夫	京都大学教授	五二
遺伝工学にまつわる不安	磯野直秀	慶応義塾大学教授	五三
日本経済とエネルギー資源の将来について	出光昭介	出光興産社長	五五
「ヒロシマ・ナガサキ」は風化しないか	伊東壯	山梨大学教授	五六
筑豊オケのめざすもの	伊藤光	筑豊青少年交響楽団総監督 常任指揮者	五七
脳・神経系はどこまで解明されるか	伊藤正男	東京大学教授	五八
日本保守政治の将来	伊藤昌哉	東急電鉄顧問	六〇
二十一世紀の合成繊維事業	伊藤昌壽	東レ社長	六一
歴史的遺産とのつきあい方	稲垣榮三	東京大学教授	六二

「ロボット化した機械工場について……………」	稲葉清右衛門	フナツク社長……………」	六三
「はたして人間は地球の今後について方針を決定する能力を持ち得ているか……………」	稲本 正	オーク・ヴィレッジ代表……………」	六七
「子どもであることと大人であることの境界に立つて……………」	いぬいとみこ	作家……………」	六八
「キリスト者から見た日本社会の問題点……………」	井上平三郎	日本基督教会横浜海岸教会牧師……………」	六九
「ナイン・ストリーズ……………」	井上光晴	作家……………」	七〇
「科学技術を人間の手でコントロールできるかどうか……………」	今井隆吉	軍縮委員会日本政府代表部大使……………」	七一
「陶芸の将来……………」	今泉今右衛門	陶芸家……………」	七三
「寿命の延長と老化問題……………」	今堀和友	東京都老人総合研究所所長……………」	七四
「二十一世紀の数学……………」	彌永昌吉	東京大学名誉教授……………」	七五
「二十一世紀は無いかもしれない……………」	色川大吉	東京経済大学教授……………」	七六
「労働組合——自主性を回復し自立せよ……………」	岩井 章	国際労働運動研究協会会長……………」	七七
「婦人労働の将来について……………」	岩田喜美枝	愛媛労働基準局賃金課長……………」	七八
「緑の地球防衛基金」について……………」	岩垂寿喜男	衆議院議員・社会党……………」	八〇
「アジアとともに生きるために——生きるとは分ち合うこと……………」	岩村 昇	神戸大学教授……………」	八一
ウーエ			
「祭りとしての出産を実現させるために……………」	上野博正	医師……………」	八二
「児童文学の「未来」を語る前に……………」	上野 瞭	児童文学者……………」	八三

二十一世紀における情報・通信システムの役割……………	植之原道行	日本電気専務取締役……………	八五
地方における文化行政の将来について……………	上原恵美	滋賀県教育委員会事務局文化 部長……………	八六
二十一世紀の私鉄……………	上山善紀	近畿日本鉄道社長……………	八七
日本人とスポーツ……………	宇佐美彰朗	東海大学助教……………	八八
地震予知と二十一世紀……………	宇佐美龍夫	東京大学教授……………	八九
都市型公害と法的責任……………	牛山積	早稲田大学教授……………	九一
放送の将来について……………	宇田博	東京放送常務取締役……………	九二
ゲージによる大統一理論は可能か……………	内山龍雄	帝塚山大学学長……………	九三
抗生物質の将来……………	梅沢浜夫	微生物化学研究所所長……………	九四
入学試験——おおらかに自然に……………	江沢洋	学習院大学教授……………	九五
音楽と音楽学校の将来について……………	海老沢敏	国立音楽大学学長……………	九七
軍備による国防は時代錯誤である……………	遠藤三郎	元陸軍中将……………	九八
水俣にて……………	遠藤寿子	出月養生所薬剤師……………	一〇二
オ			
高齢化社会における地域医療……………	大井玄	東京大学助教……………	一〇三
国立公園や国定公園はどうなるか……………	大井道夫	国民休暇村協会常務理事……………	一〇四
自己表現としての英語の学習……………	大内博	玉川大学助教……………	一〇五
農村女性の今後……………	大木れい子	東北大学農学研究所助手……………	一〇六

老人医療費無料の健康村	太田 祖 電	岩手県沢内村村長	一〇八
女性と科学研究	太田 朋 子	国立遺伝学研究所集団遺伝部 第一研究室長	一〇九
一人冤に泣いて天大に干す	大塚 一 男	弁護士	一一〇
現代の若者が中高年になったときに直面する 問題は何か	大西 赤 人	作家	一一一
子どもが「生きるちから」を弱めている	大西 忠 治	茗溪学園中学校高等学校教諭	一一三
国際交流都市・大阪をめざして	大西 正文	大阪ガス社長	一一四
繊維産業の「農業離れ」をどう見るか	大野 力	評論家	一一五
これからの国語教育	大村 は ま	元大田区立石川台中学校教諭	一一六
日本映画はこれからどうなる	大森 一 樹	映画監督	一一七
都市交通の将来	岡 並 木	朝日新聞編集委員	一一九
アジアにおける日本の将来	岡崎 嘉平太	日中経済協会顧問	一二〇
障害児者の疎外・差別は克服できるか	岡崎 英 彦	びわこ学園理事長	一二一
日本の将来について	小笠原 貞子	参議院議員・共産党	一二二
芸術の将来について	岡本 太 郎	画家	一二四
六三制のこれから——コミュニティ・カレッジの創造	小川 利 夫	名古屋大学教授	一二四
「太平洋の平和」の夢	小川 平 四郎	住友商事顧問	一二六
公立美術館の将来について	小川 正 隆	富山県立美術館館長	一二七

ポロポロ	長田 弘 詩人	一二八
二十一世紀のエネルギーシステム	押田 勇雄 上智大学教授	一二九
「人間の問題」として	小田 実 作家	一三一
日本教のからくり	落合 誓子 ノンフィクションライター	一三二
二十一世紀にさかんになるスポーツは？	鬼塚喜八郎 アシックス社長	一三三
学術会議はどうなるか	小野 周 群馬大学学長	一三四
海運事業の将来について	小野 晋 日本郵船社長	一三六
カ		
国籍法と人権	カーター愛子 日本基督教協議会幹事	一三七
抵抗を乗り越えられる子どもに	海 卓子 白金幼稚園長	一三八
コンピュータによる診断はどこまで可能か	開原 成 允 東京大学助教	一四〇
大型電波望遠鏡は宇宙に何を見出すか	海部 宣男 東京大学助教	一四二
軍事と不平等に奉仕する科学技術から平和と 平等に貢献する科学技術へ	垣花 秀武 名古屋大学教授	一四三
「技術」に追いつけない「政治」の怖さ	角 間 隆 ノンフィクション作家	一四四
地域に根ざした子ども組織を求めて	梶原 政子 調布市立野川小学校教諭	一四五
これからの市民文化について	片桐ユズル 京都精華大学教授	一四七
ワープロ技術教育の展望	勝田美保子 十印代表取締役	一四八

食糧対策・まず知ることから始まる	勝部 領樹「NHK特集」リポーター	一四九
将来の日本における宗教の位置	門脇 佳吉 上智大学教授	一五一
短歌の将来	金子兜 太俳人	一五二
被害の証言から変革の証言へ ——原爆体験の継承をめぐって	鎌田 定夫 長崎総合科学大学教授	一五三
インターナショナルリズムに支えられた労働者の 連帯の思想を	鎌田 慧 ルポライター	一五四
文化交流に必要なもの	亀井俊 介 東京大学助教授	一五六
人間はエネルギー問題をどう克服できるか	茅 陽 一 東京大学教授	一五七
日本画の将来について	加山 又造 日本画家	一五八
日本の将来について	河上 民雄 衆議院議員・社会党	一五九
生命保険事業の今後の課題について	川瀬源 太郎 日本生命社長	一六〇
二十一世紀への転換点	河野 健二 愛知大学客員教授	一六三
スポーツは人類が未来に生き残る条件	川本 信正 スポーツ評論家	一六四
日本の進むべき道	菅 直人 衆議院議員・社民連	一六五
高校野球は二部制に	神田 順治 清和女子短大教授	一六六
キ		
木材と日本の将来	木方洋 二 名古屋大学助教授	一六七

合唱運動の今後……………	北川 剛 音楽家……………	一六九
管理社会は脱近代にむけての過渡的な社会形態にすぎない……………	北沢方邦 信州大学教授……………	一七〇
印刷事業の将来について……………	北島義俊 大日本印刷社長……………	一七一
二十一世紀の水資源問題……………	北野 康 名古屋大学教授……………	一七二
ピンからキリまである予言の書の中で……………	北村 想 劇作家……………	一七三
「もう一つの日本」へのコンセンサスを求めて……………	木村俊夫 衆議院議員・自民党……………	一七五
コンコルドをしのぐ旅客機が実現するか……………	木村秀政 航空政策研究会会長……………	一七六
世界における日本人科学者の役割……………	木村資生 国立遺伝学研究所集団遺伝部部長……………	一七七
二十一世紀の交通機関・リニアモーターカー……………	京谷好泰 国鉄副技師長……………	一七八
日本の森林の未来……………	吉良竜夫 滋賀県琵琶湖研究所長……………	一七九
人間復権の方向で立て直しを——日本の中学校教育……………	桐山京子 荒川区立日暮里中学校教諭……………	一八一
ク		
ブナ原生林を二十一世紀へ……………	工藤父母道 日本自然保護協会研究員……………	一八二
学術会議のあるべき姿について……………	久保亮五 日本学術会議会長……………	一八三
——本場に役立つ学問と技術を……………	熊沢 誠 甲南大学教授……………	一八四
《労働社会》のゆくえ……………	熊田恭一 名古屋大学教授……………	一八六
土の管理……………		

日本の精神的危機について……………アーミン・H・クレーラ 日本キリスト教団宣教師……………一八七
 “未完”のまま消滅するかも知れない新世紀を前に……………桑原史成 報道写真家……………一八八

コ

日本の労働運動はどう変わるか……………神代和欣 横浜国立大学教授……………一八九
 休憩の復権を——コンピュータ化する労働の中で……………小木和孝 労働科学研究所主任研究員……………一九一
 天文学と人類……………古在由秀 東京大学東京天文台長……………一九二
 これからの化粧・美容について……………古島町子 カネボウ化粧品美容開発部長……………一九三
 ミステリーなど、エンタテインメント小説の将来……………小鷹信光 翻訳家……………一九四
 民芸的ガラスの将来について……………小谷真三 民芸倉敷ガラス作家……………一九六
 登山の分野における革新……………小西政継 登山家……………一九七
 二十一世紀に歌はどうなる……………小林亜星 作曲家……………一九八
 翻訳電話・先端技術の将来についての抱負……………小林宏治 経団連宇宙開発推進会議会長……………一九九
 明日の「図書館」へのねがひ……………小林静江 ふきのとう文庫理事長……………二〇二
 高校生の高学歴志向は変わらないだろうか……………小林次郎 筑波大学教授……………二〇三
 二十一世紀の気候と成層圏浮遊基地……………駒林 誠 気象庁総務部企画課長……………二〇四
 創らなくては来ない春……………近藤薫樹 日本福祉大学教授……………二〇五
 人間と自然の共生を……………近藤信行 作家……………二〇六

サ

これからの保育所づくり	齋藤 公子	さくら・さくらんぼ・第二さ	二〇八
精神疾患と医療の課題	齋藤 茂太	精神科齋藤病院長	二〇九
子ども文化の未来	齋藤 次郎	子ども調査研究所員	二一〇
速記の将来	西来路 秀男	日本速記協会副会長	二一一
過去の幽霊	酒井 忠康	美術史家	二一三
日本の将来について	坂井 弘一	衆議院議員・公明党	二一四
これからのプロ野球	佐々木 信也	スポーツキャスター	二一五
『日本没落論』も出ている	笹本 駿二	ジャーナリスト	二一六
市民一人一人の自治のエネルギーの上に	佐藤 憲一	本荘市長	二一八
学校図書館の基礎的条件は	佐藤 総一郎	大田市立仁科台中学校教諭	二一九
深海底金属資源利用の可能性	佐藤 壮郎	工業技術院地質調査所鉱床部 探査研究課長	二二〇
映画の未来はどうなるか	佐藤 忠男	映画評論家	二二一
柔論理を	佐藤 信夫	国学院大学助教授	二二三
物質の究極と宇宙の創生	佐藤 文隆	京都大学教授	二二四
二十一世紀の生活における余暇の価値と意味	佐 橋 滋	余暇開発センター理事長	二二五
これからの中学校教育で大切なこと	佐山 喜作	杉並区立大宮中学校教諭	二二六
科学研究と女性	猿橋 勝子	東邦大学教授	二二七
落語の将来	三遊亭 円楽	噺家	二二八

シ

アジアの民衆に協力を求めて……………	塩沢美代子	コミティ・フォア・エイシア ー・ウイメンワーカース・コ ーディネーター……………	二三〇
新しいモラルの行方 ——人間の倫理の再建の基本について……………	鎮目恭夫	科学評論家……………	二三一
『地域史』から『地域社会史』へ……………	篠崎 勝	愛媛大学教授……………	二三二
音楽——原点への回帰……………	柴田南雄	作曲家……………	二三三
遺伝子操作の将来について……………	柴谷篤弘	オーストラリア政府科学産業 研究機構分子細胞生物学単位 上級主任研究員……………	二三五
メタファアの弁証法……………	清水多吉	立正大学教授……………	二三六
都市と家庭の未来像……………	清水 忠	清水製網所社長……………	二三七
子育てにおける人間性回復の課題……………	清水民子	京都府立大学女子短期大学部 助教授……………	二三八
コンピュータ社会の中で人間は……………	下田博次	ジャーナリスト……………	二四〇
二十一世紀の家族……………	下村満子	朝日新聞編集委員……………	二四一
これからどうなるプロレス界……………	ジャイアント馬場	プロレスラー……………	二四二
女がかかわってこそその平和……………	寿岳 章子	京都府立大学教授……………	二四三
地球外文明との交信はできるか……………	寿岳 潤	東京大学助教授……………	二四四
新しい地域語を……………	白鳥邦夫	秋田県立能代工業高校教諭……………	二四六
日本における政党政治の将来……………	白鳥 令	独協大学教授……………	二四七
滅びゆく山岳写真……………	白旗史朗	山岳写真家……………	二四八

性はひらかれる……………二四九

ス

『絵画の明日』について……………二五〇

LSIはどこまで進歩するか……………二五二

女性の時代……………二五三

主人公は子どもです……………二五五

がんの原因はどこまで解明されるか……………二五六

老人問題の対策について……………二五七

私の二十一世紀図書館戦略……………二五九

演劇と現代……………二六〇

日本人の身体の大きさはどうなるだろうか……………二六一

これからのIC研究体制について……………二六二

日本経済の将来について……………二六三

セ

言語障害教育の課題について……………二六四

エレクトロニクス産業の将来について……………二六六

精神障害者にとって暮らしやすい世の中になるだろうか……………二六七

新藤兼人 映画監督……………二四九

菅井 汲 画家……………二五〇

菅野 卓雄 東京大学教授……………二五二

菅原真理子 内閣総理大臣老人対策室参事官補……………二五三

杉浦 一枝 児童精神科医師……………二五五

杉村 隆 国立がんセンター研究所長……………二五六

杉本富恵 愛媛看護協会会長……………二五七

鈴木喜久一 東村山図書館長……………二五九

鈴木忠志 演出家……………二六〇

鈴木継美 東京大学教授……………二六一

鈴木敏正 電電公社厚木電気通信研究所集積回路研究部長……………二六二

鈴木治雄 昭和電工会長……………二六三

関口秀雄 全日本訥吃根絶予防研究所長……………二六四

関本忠弘 日本電気社長……………二六六

仙波恒雄 同和会千葉病院院長……………二六七

アジアからの「地の声」を聞こう……………	戴 國 輝 立教大学教授……………	二六八
ガジュマルの大樹の如く……………	平良啓子 国頭村立奥間小学校教諭……………	二六九
沖繩のそして日本の将来について……………	平良良松 那覇市長……………	二七一
二十一世紀の日本人の身長……………	高石昌弘 国立公衆衛生院母性小児衛生学部長……………	二七二
陽の時代、陰の時代……………	高尾義政 算命学宗家……………	二七三
生存の質を問い続けたい……………	高木仁三郎 原子力資料情報室員……………	二七四
どうなる「学生運動」……………	高木正幸 朝日新聞編集委員……………	二七五
コンパクト・ディスクとその将来……………	高城重躬 オーディオ評論家……………	二七七
二十一世紀の気候……………	高橋浩一郎 元気象庁長官……………	二七八
コンピュータ診断の泣きどころ……………	高橋 正 大阪市立大学講師……………	二七九
マラソンの記録は二時間を切るようになるか……………	高橋 進 東海大学教授……………	二八〇
美しい川、親しめる川づくり……………	高橋 裕 東京大学教授……………	二八二
大相撲の将来……………	高橋義孝 横綱審議委員会委員長……………	二八三
光計算機は実現するか……………	高原 靖 日本電信電話公社理事……………	二八四
地方自治体の将来について……………	高寄昇三 神戸市市長室参事……………	二八五
これからの講談……………	宝井琴梅 講談師……………	二八六
労働運動のこれからの課題……………	滝田 実 同盟顧問……………	二八八

これからの家族と国家……………	ダグラス・ラミス 津田塾大学教授……………	二八九
日本と中国のこれから……………	竹内 実 京都大学教授……………	二九〇
未来の裏切り……………	多田道太郎 京都大学教授……………	二九一
先進工業国の婦人組織の課題……………	立松隆子 日本婦人団体連合会副会長……………	二九二
これからの日本人と法的機構の運用……………	田中成明 京都大学教授……………	二九四
差別なき心の世紀へ……………	田中徹二 日本盲人福祉研究会常任委員……………	二九五
遺跡の命運がきわまる世紀になる……………	田中 琢 奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター長……………	二九六
吟詠の将来について……………	田辺天風 照天流宗家飛鳥吟詠会会長……………	二九七
教育の将来において最も憂うべきこと……………	谷 昌恒 北海道家庭学校理事長・校長……………	二九八
人類は核戦争によって自滅するか……………	田沼 肇 法政大学教授……………	三〇〇
広告会社の将来……………	田丸秀治 電通社長……………	三〇二
教育に地方自治を……………	俵 萌子 評論家……………	三〇三
チート		
これからの高校教育……………	近津経史 正則高等学校教諭……………	三〇四
若者は変るか……………	筑紫哲也 朝日新聞編集委員……………	三〇六
短歌の未来——歌人牛を飼はず……………	塚本邦雄 歌人・作家……………	三〇七
料理の未来……………	辻 静雄 辻調理師専門学校校長……………	三〇八
これからの時代と小企業……………	辻 弥兵衛 辻本店会長……………	三〇九

ソフトパスへの転換	榎屋治紀 システム技術研究所長	三二一
新しい経済学の必要——これからの流通産業	堤 清 二西武流通グループ代表	三二二
住宅地の需給はどうなるか	坪井 東 三井不動産社長	三二三
おもちゃと子ども	寺内定夫 おもちゃデザイナー	三二五
自然保護・生きもの同士のつきあい	寺田一郎 赤目観光協会会長	三二六
本当の福祉元年を	暉峻淑子 埼玉大学教授	三二七
シリアス・フォトグラフィ	東松照明 写真家	三二九
保育問題は国の将来を左右する	堂本暁子 東京放送報道局ディレクター	三三〇
コンピュータ神話から自由になる時	外岡 宏 理経社員	三三一
一人一人を大切に作る心を育てる教育を	富井明子 福岡海星女子学院高校教諭	三三二
森林を守りきれるか	富山和子 評論家	三三三
これからの学問	豊田利幸 名古屋大学教授	三三五
ナ		
政権交代のないところに民主主義は機能しない	仲井 斌 政治学者	三三六
薬の将来	永井恒司 星薬科大学教授	三三七
国連の将来	永井道雄 国連大学特別顧問	三三八
人類と医学のかかわり	中尾喜久 自治医科大学学長	三三九
機械翻訳はどこまで進むか	長尾 真 京都大学教授	三三一

西曆二〇〇一年のオーディオ装置	長岡鉄男 オーディオ評論家	三三二
金融の将来について	中川幸次 野村総合研究所所長	三三三
ぼけ老人の看・介護について	中島紀恵子 千葉大学助教授	三三四
表情豊かな子供たち・表情豊かな日本	長洲一二 神奈川県知事	三三六
二十一世紀の日本——平和のために何を	永末英一 衆議院議員・民社党	三三七
南極大陸の将来	永田武 国立極地研究所所長	三三九
きみ、農業をやらないか	長野淳子 千葉県農業試験場技師	三四〇
インターフェロンは癌を制するか	長野泰一 国立相模原病院研究部顧問	三四一
日本の労働組合運動の将来について	中林賢二郎 法政大学教授	三四二
生協運動の展望	中林貞男 日本生協連会長理事	三四三
核兵器という鉄鎖をたち切る以外に黎明はない	永松初馬 山口県原爆被爆者福祉会館事務理事	三四五
植木生産業の将来	中丸一夫 植木生産業	三四六
科学・社会・女性	中村桂子 三菱化成生命科学研究所人 間・自然研究部長	三四七
軍事化への道は何を生むか	中村政則 一橋大学教授	三四八
二十一世紀において哲学が問われるもの	中村雄二郎 明治大学教授	三五〇
歌舞伎の将来について	永山武臣 松竹副社長	三五二
中・高校教育における私学の役割	生江義男 桐朋学園学長・校長	三五三
日本農業の将来	並木正吉 農政研究センター理事	三五四

都市ゴミ問題の未来は関係者多数による合意で	西岡 昭 夫 静岡県立韮山高等学校教諭	三五六
木の命 木の心	西岡 常 一 法隆寺大工(寺社大工)	三五七
NIEO後の世界経済像	西川 潤 早稻田大学教授	三五八
教育の別れ道	西島 建 男 朝日新聞学芸部記者	三五九
これからの女性——育児から男性を疎外してはならない	二宮 ま や 関西大学教授	三六〇
明日に向かって明日をつくる	丹羽 徳 子 中津川市立神坂小学校教諭	三六一
森林や草原はこれからどうなるか	沼 田 真 千葉大学教授	三六三
古典芸能は、今、分かれ道に立っています	根岸登喜子 端唄家元	三六四
バイオテクノロジーと薬の未来	野口 照 久 サントリー常務取締役	三六五
今こそ価値観の変革が	野口三千三 野口体操教室主宰	三六六
複雑な有機天然物の合成はこれからどうなるか	野 崎 一 京都大学教授	三六七
「若く肉体」と演劇	野 田 秀 樹 劇団夢の遊眠社副代表	三六九
人類生存の危機の深淵をくぐり抜けよう	野 間 宏 作家	三七〇
絵の大学の在り方	野見山 暁 治 東京芸術大学客員教授	三七一
ヨーガと高齢化社会	野村布慈子 ヨーガ禅道友会教師	三七二
ハ		
ロックミュージックの将来	白 竜 ロック歌手	三七三

環境政策はどうなるか……………	橋本道夫 筑波大学教授……………	三七四
日本文化の未来——哲学と宗教……………	橋本峰雄 神戸大学教授……………	三七六
身体の障害の絶滅を願って……………	長谷川茂代 千葉県身体障害者結婚相談所 所長……………	三七七
登山のこれから……………	長谷川恒男 アルビニスト……………	三七八
ローカル線を廃止して地方自治はない……………	長谷部秀見 北海道美深町町長……………	三七九
ドキュメンタリーフォトのあり方……………	英 伸 三 写真家……………	三八一
高校教育の将来について……………	花村富士男 栃木県立宇都宮北高等学校校 長……………	三八二
日本舞踊の将来について……………	花柳千代 日本舞踊家……………	三八三
住宅問題はこれからどうなるか……………	早川和男 神戸大学教授……………	三八四
ブラックホールのうちとそと……………	早川幸男 名古屋大学教授……………	三八五
次の時代に伝えたいこと……………	林 京子 作家……………	三八七
農業および農村の復権……………	林 尚 孝 茨城大学助教授……………	三八八
市民自治の目で国政の改革を……………	葉山 峻 藤沢市長……………	三八九
民族芸能はどうなるか……………	原 太郎 わらび座代表……………	三九〇
新聞の行く手……………	原 寿雄 共同通信社常務理事……………	三九三
二十一世紀の建築について……………	原 広 司 東京大学教授……………	三九四
ふるさとに思う……………	原田泰治 グラフィックデザイナー……………	三九五
一九九X年、水俣では……………	原田正純 熊本大学助教授……………	三九六

日本文化の未来——破壊か再生か……………	針生一郎	和光大学教授……………	三九七
都市の緑地率はどうか……………	半田真理子	経済企画庁国民生活局国民生活政策課課長補佐……………	三九九
スリランカに学ぶ——障害児教育の理想を目ざして……………	半本操子	東京都立江東ろう学校教諭……………	四〇〇
ヒ			
バンビちゃん、気をつけて……………	東陽一	映画監督……………	四〇一
水泳ニッポンは再び甦るか……………	東島新次	日本水泳連盟・競泳委員……………	四〇二
「日本にも水河を」……………	樋口敬二	名古屋大学教授……………	四〇四
古くて新しい市民運動……………	日高六郎	京都精華大学教授……………	四〇五
障害者教育の将来について……………	尾藤操	岐阜なずな学園長……………	四〇六
子どもの病気とその治療法の発達……………	日比逸郎	国立小児病院医長……………	四〇七
日本の将来と発展途上国の人づくりへの協力……………	日比野省三	中京大学教授……………	四〇八
ラグビーの将来……………	日比野弘	日本ラグビー協会強化委員長……………	四一〇
精神科医療の展望……………	平井康夫	精神科医師……………	四一一
日本経済の将来につれて……………	平岩外四	東京電力社長……………	四一二
被爆朝鮮人が日本人に問うているもの……………	平岡敬	中国放送専務取締役……………	四一三
現代人の足——人類の滅亡期……………	平沢彌一郎	東京工業大学教授……………	四一四
経済学の極北……………	平田清明	京都大学教授……………	四一六
無農薬野菜づくりの町……………	平林龍男	白田農業協同組合副組合長理事……………	四一八

これからの地域開発と地方自治体……………	平松守彦	大分県知事……………	四一九
タバコ病対策が遅きに失した日本を待っているものは	平山雄	国立がんセンター研究所疫学部長……………	四二〇
第三次世界大戦の鍵……………	広瀬隆	医学翻訳家……………	四二二
労働市場における女子の現在と将来……………	広田寿子	日本女子大学教授……………	四二三
フーへ			
新聞をつくる側にもっともっと女性が必要……………	深尾凱子	読売新聞編集委員……………	四二四
底点志向……………	深津文雄	かにた婦人の村施設長……………	四二五
人類の選択……………	福井謙一	京都工芸繊維大学学長……………	四二六
エセ哲学発生のおそれ……………	福田定良	文筆業……………	四二八
グラフィックデザインを越えて……………	福田繁雄	グラフィックデザイナー……………	四二九
写真機用レンズ、これからどうなる……………	福田豊	写真家……………	四三一
子どもたちの育つ場を……………	福知トシ	井の頭保育園園長……………	四三二
将来の沖繩について……………	福地 昶	昭沖縄県教職員組合副委員長……………	四三三
日本の碁、世界の碁……………	藤沢秀行	囲碁九段……………	四三四
哲学の課題……………	藤澤令夫	京都大学教授……………	四三六
中学・高校の数学教育はどうなるか……………	藤田宏	東京大学教授……………	四三七
毛虫は蝶になるか?……………	藤村信	ジャーナリスト……………	四三八
二十一世紀の家族像……………	布施晶子	札幌商科大学教授……………	四三九

石柱の林の中に迷う夢	舟越保武彫刻家	四四〇
子ども時代だからこそその文学を	古田足日児童文学者	四四一
スフィックスの謎	別役実劇作家	四四三

ホ

工業化社会はどこへ	星野芳郎帝京大学教授	四四四
サッカーとオリンピック	堀江忠男早稲田大学教授	四四五
パニックと教育公害	本多勝一朝日新聞編集委員	四四六
温泉旅館のこれから	本間儀左衛門萬国屋社長	四四七

マ

市民に拠ってひらく図書館の未来	前川恒雄滋賀県立図書館長	四四九
中・高校生の非行・問題行動のゆくえ	前澤泰 <small>全国生活指導研究協議会常任委員</small>	四五〇
二十一世紀は第二次農耕文化時代の幕明け	前田俊彦瓢鰻亭通信発行者	四五一
情報社会の次に何がくるか	牧野昇三菱総合研究所副社長	四五二
しあわせについて	真尾悦子作家	四五三
二十一世紀のジャーナリズムの中で女性は	増田れい子毎日新聞編集委員	四五五
これからの日本人について	松田道雄小児科医	四五六
アジア諸国との積極的な文化交流を	松永昌三茨城大学教授	四五七
文化としての人工環境	真鍋博イラストレーター	四五八

婦人解放の課題	丸岡秀子	評論家	四六〇
教育は手作りで	丸川桂子	北海学園大学非常勤講師	四六一
コリャサの文明に	丸木俊	画家	四六二
二十一世紀の遺伝子工学	丸山工作	千葉大学教授	四六三
ミ			
住宅の将来について	三澤千代治	ミサワホーム社長	四六四
日本経済の将来について	水上芳美	長谷川工務店社長	四六五
二十一世紀の妖怪	水木しげる	漫画家	四六七
子どもに心を取り戻すために	水代彰子	堺市仲よしクラブ学童保育指導員	四六九
家族の崩壊、これからどうなる	水田珠枝	名古屋経済大学教授	四七〇
これからの日本語研究	水谷静夫	東京女子大学教授	四七一
高齢化社会・日本の難局	水野肇	著述業	四七二
管理伝染病から自分の〈からだ〉をとりもどす ——学校現場から	水野行範	大阪府立東住吉高等学校教諭	四七三
自我のゆくえ	見田宗介	社会学者	四七五
流通産業の将来について	光山松雄	労働運動史研究会会員	四七五
子どもの「発達」研究の今後	三宅和夫	北海道大学教授	四七七
世界経済の課題は何か	宮崎勇	大和証券経済研究所理事長	四七八

絶対的貧困との闘い	宮崎義一	京都大学教授	四七九
日本の大学と自然科学	都城秋穂	ニューヨーク州立大学教授	四八〇
日本財政の進路	宮本憲一	大阪市立大学教授	四八一
ム			
エネルギー供給構造はどう変わるか	向坊隆	原子力委員会委員長代理	四八三
村の暮らし	向山雅重	民俗研究・郷土史家	四八四
学校教育はどうなつたらよいか	無着成恭	明星学園小・中学校教頭	四八五
超高層ビルはどこまで高くなるか	武藤清	武藤構造力学研究所所長	四八六
二十一世紀こそ子どもの世紀に	村岡末広	二葉学園園長	四八八
外国人留学生と日本	村上カズコ	東京大学外国人留学生アドバイザー	四八九
編物・手芸のこれから	村上房子	村上学園学園長	四九〇
部落問題の将来について	村越末男	大阪市立大学教授	四九二
二十一世紀への狭き門——日本経済の課題	村本周三	第一勧業銀行相談役	四九三
“水土の経済”からみた日本の未来	室田武	一橋大学助教授	四九四
モ			
アニメーション事業の将来	本橋浩一	日本アニメーション社長	四九五
“時間”の時代における日本	森一久	日本原子力産業会議専務理事	四九七
中小企業の世紀がやってくる	森清	羽生田鉄工所製造第一課長	四九八

脱学校時代の数学教育……………	森	毅	京都大学教授……………	四九九	
仕事着と働きの場……………	森	南海子	服飾デザイナー……………	五〇一	
マイクロエレクトロニクス革命がもたらすもの……………	森	亮一	筑波大学教授……………	五〇二	
「クリストの平和」に立つ……………	森	岡	巖	新教育出版社長……………	五〇三
コンピュータと教育……………	森	口繁一	東京電機大学教授……………	五〇四	
地域社会の殿堂としての病院……………	諸橋	芳夫	旭中央病院院長……………	五〇六	

ヤ

二十一世紀の日本語ワードプロセッサ……………	安田	寿明	東京電機大学助教授……………	五〇七
衛星放送とCATVの時代……………	柳	治郎	日本民間放送プロモーション機構代表……………	五〇八
これからの工業デザインについて……………	柳	宗理	柳工業デザイン研究会理事長……………	五〇九
二十一世紀はセラミック時代となるか……………	柳田	博明	東京大学教授……………	五一一
ヒトの遺伝子治療は可能か……………	柳瀬	敏幸	九州大学教授……………	五二二
精神的な価値の優位をみとめること……………	柳瀬	睦男	上智大学学長……………	五二三
——将来に希望をもちたらず道……………	矢野	暢	京都大学教授……………	五二四
日本の政治の近代化の理論を……………	山内	大介	毎日新聞社社長……………	五二五
情報革命の中で新聞はどうなるか……………	山口	勇子	作家……………	五二七
人間の英知に期待して……………				

鵜飼の将来……………	山下善平 宮内庁式部職鵜匠……………	五一八
三〇年後、五〇年後もやっぱり村があり、 田や畑があり、牛がいて……………	山下惣一 農業……………	五一九
空洞化を破るこれから……………	山代 巴 作家……………	五二〇
これからの教育改革……………	山住正己 東京都立大学教授……………	五二一
これからのテレビドラマ……………	山田太一 シナリオライター……………	五二三
大都市行政の今後の課題……………	山田正男 都市研究所所長……………	五二四
日本に飢饉はくるか……………	山根一郎 東京農工大学教授……………	五二五
二十一世紀の育児……………	山内逸郎 国立岡山病院院長……………	五二六
ふらふらが大事……………	山福康政 印刷業自営……………	五二八
逆旅 <small>さかたび</small> 四〇〇〇回……………	山村正光 国鉄甲府車掌区在勤車掌長……………	五二九
癌の免疫療法はどこまで進むか……………	山村雄一 大阪大学総長……………	五三〇
ホテル業の将来について……………	山本 孝 ロイヤルホテル社長……………	五三一
二十一世紀の情報化社会……………	山本卓真 富士通社長……………	五三二
ヨ		
市民運動の今後の課題……………	吉川勇一 「日本はこれでいいのか市民 連合」世話人……………	五三四
地方銀行の将来……………	吉國二郎 横浜銀行頭取……………	五三五
二十一世紀の農業と農業技術……………	吉田昌一 国際稲研究所植物生理部長……………	五三六

食糧問題の将来……………	吉田武彦	農林水産省北海道農業試験場 企画連絡室長……………	五三七
地域開発の将来について——巨大開発の破綻……………	吉田毅	青森県公害センター大気課長……………	五三九
徳之島芸術村づくりの抱負……………	吉田福秀	スタジオ和光編集員……………	五四〇
二十一世紀の医学について……………	吉利和	浜松医科大学学長……………	五四二
総合建設業の将来について……………	吉野照蔵	清水建設社長……………	五四三
経済の時代から文化の時代へ……………	吉野俊彦	山一証券経済研究所理事長……………	五四四
これからどんな男優・女優があらわれるか こうなつてほしいと思うこと……………	淀川長治	映画評論家……………	五四五
ワ			
二十一世紀の地域医療体制……………	若月俊一	佐久総合病院院長……………	五四七
豊かな時代に適応する教育への転換……………	若林繁太	篠ノ井旭高等学校校長……………	五四八
演劇の将来……………	和田豊	パリ国立コンセルバトワール 教授……………	五四九
地震予知は可能になるか……………	和達清夫	埼玉大学名誉教授……………	五五〇
演劇が豊かになるために……………	渡辺浩子	劇団民芸(演出)……………	五五一
これからの司法……………	渡辺洋三	帝京大学教授……………	五五三
NMR医療はどこまで進む……………	亘弘	岡崎国立共同研究機構生理学 研究所研究主幹……………	五五四

みんな地獄へおちる……………	
黒田征太郎 イラストレーター……………	一〇〇
桑原伸之 イラストレーター……………	二〇一
長 新 太 イラストレーター……………	三〇一

〈写真〉

アジアの顔……………	久保田博二 写真家……………	(五一—四二)
日本の風景……………	藺 部 澄 写真家……………	(一四四—二八〇)
世界の人々……………	田 沼 武 能 写真家……………	(二八三—四一五)
現代語感辞典……………	富山 治 夫 写真家……………	(四一七—五五六)

テーマ別目次

